

令和2年度 ときわ会長岡東支部 運営の基本方針

長岡東支部長 高橋 正則

【運営方針】

「一人一人が誇りを持ち、輝く長岡東支部」
～ 自覚的に学び続ける人材育成 ～

私たち長岡東支部の会員には使命がある。それは、支部での研修や学びの成果を、目の前の子どもに、勤務する学校・地域にしっかりと届けることである。

【長岡東支部の特色】

○人材が豊富である

長岡東支部は、極めて高い力量をもつ指導者がそろった、質・量共に、優れた人材を擁する支部である。まさに「研修団体・ときわ会」の姿を具現する支部といえる。

○研修が充実している

長岡東支部には、「研修こそ命」「厳しく自らを鍛え、互いに磨き合う」という精神が脈々と受け継がれている。

○地域貢献の活動が市民に認知されている

長岡東支部は、地域貢献や地域教育プログラムの実施により、学校のすばらしさを伝える努力をしてきた。このことにより、地域・保護者が学校の応援団になる関係にまで高まってきた。

【活動の重点】

1 授業改革を通じた学力向上

会員一人一人の教育への「志」を大切にする。長岡東支部は、その「志」を具現するために多様な研修の機会を提供する。

教師は、自らの実践において絶えざる刷新を進め、学び続ける存在でなければならない。このことを強く意識し、授業で勝負する教師の育成のために研修の充実に努める。

2 地域に根ざした学校経営

「教育は未来への希望である」という考えをしっかりと受け止め、「子どもたち一人ひとりの個性が輝き、幸せを創り出していける教育の推進」を具現する学校経営に努める。まずは、それぞれが勤務校・地域の歴史や文化、伝統に精通し、日々の教育活動に当たる。

3 新たな課題に対する研修の充実

「プログラミング教育」「外国語科・外国語活動」「特別の教科 道徳」について学ぶ新しい教育実践研修講座を継続し、会員の実践的指導力の向上を支援する。

また、教育活動が充実し、魅力ある働き方ができる学校づくりを進めていくための研修も実施する。

4 150周年の先を見据えた、ときわ会の取組と研修・組織の在り方を探る

年層別の会や地区集会などの様々な機会を活用して、ときわ会の研修や組織の在り方について話題にし、ときわ会の未来を探る取組を進める。

令和2年度の支部活動は、新型コロナウイルス感染予防のために、大きく制限を受けることが予想される。制限のある環境の中でも、方法を工夫し、長岡東支部の会員としての使命をしっかりと果していきたい。

大切なことは、会員一人一人の教育に対する「志」を、支部の活動推進のエネルギーにして、活動をしっかり推進することであり、決して活動を止めないことである。そのために、各部で計画した事業の目的を今一度再確認し、その目的達成のための方法を、「新しい生活様式」を踏まえ、可能な限り感染防止策を徹底した上で工夫をする。

長岡東支部のエネルギーを、豊かな人材を最大限に生かした活動を展開していき、ときわ会本旨「つねに厳しくみずから鍛え、相互に錬磨しあう」を堅持し、会員一人一人が教師としての力量を高めるべく努力する長岡東支部の活動としていく。